

2022.6.6

## エミリアーノ・ポンツィによる Salone del Mobile.Milano 60 周年記念イラスト最後の 1 枚：現在と未来への展望を描く

数々の賞を受賞したイタリアのイラストレーターによる、イベントの色彩と提案の旅の最終章。1961 年から今日に至るまで、街との関係、人々との関係、習慣の変遷を回顧したのち、最終版では新鮮さと楽観性を持って未来を見据えます。

イタリアを代表する世界的なイラストレーター、**Emiliano Ponzi** (エミリアーノ・ポンツィ) が、**第 60 回 Salone del Mobile.Milano | ミラノサローネ国際家具見本市** (以下、ミラノサローネ) のコミュニケーションキャンペーン制作に同意してからの数ヶ月間、**見本市の歴史を 10 年ごとに 1 枚ずつ**、その伝統を祝うと共に**ミラノ市とデザインの進化、ライフスタイルとのつながり**を示す、彼の**6 枚のポスター**が彩られました。1961 年から現代までのイタリア、ミラノの空気や感情を現代的な視点で再提案し、毎回、驚きやサスペンスの瞬間を与えてくれるイメージの数々です。エミリアーノの作品は、ミラノ市とサローネとの関係における最も代表的な要素を特定し、その関係に内在する背景を明確に表現し、横断的なアプローチとビジョンを維持した総合的に素晴らしい作品となりました。

最後の 6 枚目のポスターは、2010 年代の後半に捧げられたイラストで、未来を垣間見ることができるのです。逆光の中、丘の上に座り、ミラノのスカイラインを眺めながら、アイパッドで 60 の数字をスケッチしている人物。サローネと同じように、彼女は先のことを考え、たゆまず明日を楽観視しているようです。こうして完成したイラストからは、勢い、喜び、自信、色彩が感じられます。これは「最終章」ではなく、鋭い洞察であり、サローネ、ミラノ、そして世界中で私たちを待ち受けている「何か新しいもの」を発見するための新しい第一歩を示しています。

**エミリアーノ・ポンツィ**は、「2022 年のミラノサローネは、重要な節目を迎える特別の回であり、今までと同じ意欲と熱意を持って戻ってきます」とコメントしています。

「サローネの運営者、デザイナー、来場者、イベントなどの声に耳を傾け、その場にあった時の気持ちを思い出していました。その歴史を 6 枚のポスターにまとめ、10 年ごとにドレスを着せ替えてみました。あとは現実に没頭して、この日々を楽しむだけです」。

「第 60 回ミラノサローネのポスター制作をエミリアーノ・ポンツィに託すことができ、大変嬉しく思っています。彼は、広く鋭い目で見本市の歴史とアイデンティティを見つめ、それを折衷的かつ魅力的に解釈することができました。ミラノが見本市の舞台であり原動力であり、サローネはミラノを世界のデザイン都市にしたのです」と、**ミラノサローネのマリア・ポッロ代表**は説明し、「ポンツィの視点の先には価値、記憶、希望が凝縮されています。最後の絵の人物のように、クオリティ、対話、尊敬、文化の受容に焦点を当てる



ことよってのみサローネはさらに 60 年間成長し続けることができると知って、自信を持って未来に向かっていきます」と結んでいます。

最新のポスターでも、従来のミラノサローネのコミュニケーションと比較して破壊的な要素は、**拡張現実**を利用したイラストと観客との新しいレベルの関係やインタラクションが加わっていることです。ミラノを拠点に、モーショングラフィックス、2D/3Dアニメーション、ディレクションを専門とするクリエイティブスタジオ、**Alkanoids** (アルカノイド) とのコラボレーションにより、画像に新たなデジタル要素を加えたことで、ポスターの QR コードから、アプリケーションをダウンロードし、静的で平面的な次元から、現実へと動き出すイラストを楽しめます。

プレスお問い合わせ先: 山本幸 [yuki@milanosalone.com](mailto:yuki@milanosalone.com)

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti [press@salonemilano.it](mailto:press@salonemilano.it)